


三郷市備蓄計画



令和8年5月

 三郷市

目次

1 はじめに.....	1
2 公的備蓄	2
(1) 対象者.....	2
(2) 備蓄品目の選び方.....	2
(3) 目標数.....	3
(4) 備蓄物資の整備.....	7
(5) 食糧・飲料水の備蓄計画.....	10
(6) 生活必需品の備蓄計画.....	12
(7) 資機材【消耗品】の備蓄計画.....	14
3 協定による物資の調達.....	15
4 備蓄倉庫.....	17
(1) 集中備蓄.....	17
(2) 分散備蓄倉庫.....	17

1 はじめに

「三郷市備蓄計画」については、「平成 24・25 年度埼玉県地震被害想定調査報告書」の東京湾北部地震による、避難所避難者数を想定した備蓄体制を整えていきます。

本市では、災害用の備蓄品を学校等の備蓄倉庫に分散備蓄し、自主防災組織に対して防災資機材等の整備を支援する等、防災力の向上に努めてきたところではありますが、今後は、より一層これら非常用物資の備蓄及び調達体制の整備を推進します。

備蓄を検討するにあたり、災害発生の季節及び時間帯は事前に特定できないため、最悪のケースにも対応できるよう品目を選定します。さらに、食糧、生活必需品の備蓄及び調達品目については、高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦等の要配慮者に配慮した品目の積極的な備蓄に努めます。

今後は、本計画に基づき、アルファ米やライスクッキー、飲料水といった備蓄品の購入と、資機材等の整備を進めていきます。また、自助・共助を基本に、各家庭において、日頃から災害に備え、家族構成や既往症等に応じて必要となる生活必需品を最低 3 日分（推奨 1 週間）程度、備蓄するよう啓発に努めます。

なお、備蓄品の更新計画は毎年度、時点修正を行うこととし、新たな課題や強化していくべき課題が生じた場合などには、その都度検討を加え、必要に応じ計画の修正を行うこととします。

2 公的備蓄

この項目では、公的備蓄の品目、目標数の算出、令和 11 年度末までの整備目標について記述します。

(1) 対象者

備蓄物資支給対象者については、「平成 24・25 年度埼玉県地震被害想定調査報告書」の東京湾北部地震による、避難所避難者数の想定に基づいて算出します。

災害発生後 3 日目以降は、流通備蓄や救援物資が到着すると予想されるため、この地震被害想定調査により算出された避難者数のうち、1 日後避難者数（災害発生後 2 日目）の数が最大とされる冬の夕方に発生した場合の人数を備蓄物資支給対象者とします。

避難所避難者4,525人 + 避難所外避難者3,016人 = 備蓄物資対象者数7,541人

また、災害救助従事者を以下のように見込むものとします。

災害救助従事者 = 1,000人

(2) 備蓄品目の選び方

災害時要配慮者や女性に配慮して、主に以下の考え方で品目を選定するものとします。

ア 食糧及び飲料水

【調理不要食、アレルギー対応食、要配慮者対応食、飲料水等】

県は、東京湾北部地震の被害想定に基づき、避難者用を県と市町村でそれぞれ 1.5 日分（合計 3 日分）以上、災害救助従事者用を県と市町村でそれぞれ 3 日分以上としている。また、給水量については、三郷市地域防災計画に記載している、1 人あたり 1 日 3 リットル×3 日分の備蓄量を目安にするものとします。

保存期間が残り 3 か月未満となった食料及び飲料水については、市の様々なイベントで活用することによって、市民の防災意識の高揚を図ります。 また、防災教育の一環として、小・中学校への配布を検討します。
--

イ 生活必需品

【毛布、簡易トイレ、オムツ、生理用品等】

東京湾北部地震の被害想定に基づき、避難者用を県と市でそれぞれ 1.5 日分（合計 3 日分）以上備蓄します。

ウ 資機材【発電機、投光器、間仕切り、簡易ベッド等】

避難所運営に係る資機材、又は自助・共助で備蓄することが困難なもののうち、発災後 3 日以内に必要な資機材を備蓄するものとします。

また、定期的に棚卸しを行い、経年劣化や故障等がある場合には、入れ替えを行うものとします。

(3) 目標数

上記対象者と備蓄品目を踏まえて、具体的な備蓄品目とその目標数を算出。

目標数算出に用いた 人口割合

年齢区分	人口割合
0 歳	0.6%
1～2 歳	1.2%
3 歳～74 歳	82.3%
75 歳以上	15.9%
3 歳	0.7%
10 歳～55 歳の女性	25.9%
要介護 3 以上	1.6%

※令和 7 年 4 月 1 日時点の三郷市人口割合による

ア 食糧・飲料水

品 目	対 象 者	対象者数	目 標 数
・アルファ米 (アレルギー対応食) ・ライスクッキー (アレルギー対応食)	3 歳～74 歳	7,541 人×82.3%×3 食×1.5 日	27,928 食
・アルファ米 (アレルギー対応食) ・ライスクッキー (アレルギー対応食)	災害救助従事者	1,000 人×3 食×3 日	9,000 食
・アルファ米 (要配慮者対応食 (おかゆ)) (アレルギー対応食)	1～2 歳+75 歳以上	7,541 人×17.1%×3 食×1.5 日	5,803 食
・乳幼児用ミルク ・乳アレルギー対応 ミルク	0 歳	7,541 人×0.6%×60%*×5 食×1.5 日	204 食
・飲料水	全対象	(7,541 人+1,000 人) ×100% ×3 日	76,869 食

※厚生労働省より、授乳方法の割合が母乳のみ 40%、哺乳瓶使用 60%と示されています。

イ 生活必需品

品 目	対 象 者	対象者数	目 標 数
・毛 布	1 歳～3 歳+75 歳以上 +妊婦(0 歳児の数)	7,541 人×18.4%	1,388 枚
・アルミブランケット	毛布以外の避難者	7,541 人-1,388 枚	6,153 枚
・生理用品	10 歳～55 歳の女性	7,541 人×25.9%×6 枚×1.5 日	17,578 枚
・哺乳瓶	乳児用ミルク対象者	7,541 人×0.6%×60%×5 回 ×1.5 日	204 本
・子供用紙おむつ	3 歳以下	7,541 人×2.5%×5 枚×1.5 日	1,414 枚
・大人用紙おむつ	要介護 3 以上	7,541 人×1.6%×5 枚×1.5 日	905 枚
・仮設トイレ ・簡易トイレ	避難者-紙おむつ利用者 7,541 人-(7,541 人×2.5%) - (7,541 人×1.6%) =7,231 人	7,231 人÷50 基 ^{※1}	145 基
・携帯トイレ		7,231 人×5 回 ^{※1} ×3 日	108,465 回分
・トイレットペーパー		7,231 人×0.8m ^{※2} ×5 回×1.5 日	43,386m

※1 内閣府より、災害発生当初のトイレの個数について、避難者 50 人当たり 1 基確保することが望ましいとされています。また、1 日の平均使用回数は 1 人当たり 5 回と示されています。

※2 日本トイレ協会より、トイレットペーパーについて、1 回の平均使用量は 1 人当たり 80cm と示されています。

ウ 資機材

品 目	対象施設等	対象数	目 標 数
・ ガスインバータ発電機	指定避難所 (32 か所) 福祉避難所 (4 か所)	避難所×2	72 台
・ カセットガスボンベ (発電機用)		避難所×192	6,912 本 (3 日分)
・ エンジンオイル (発電機用)		避難所×2	72 本 (3 日分)
・ バルーン投光機		避難所×2	72 台
・ 非常用充電池		避難所×4	144 台
・ コードリール		避難所×2	72 台
・ 自動ラップ式トイレ		指定避難所×1 福祉避難所×4	48 台
・ プライベートテント	指定避難所 (32 か所)	避難所×10	320 張
・ 間仕切り		4,524 人 (避難所避難者) × $\frac{1}{2.06}$ (世帯割合) ※	2,196 張
・ アルミマット		避難所×80	2,560 枚
・ 簡易ベッド		4,524 人 (避難所避難者) ×15.9% (75 歳以上)	719 台
・ エアーマット		4,524 人 (避難所避難者) - 719 人 (簡易ベッド利用者)	3,805 個
・ 多目的簡易ベッド		福祉避難所 (4 か所)	4,524 人 (避難所避難者) ×1.6% (要介護3以上)

※世帯割合：令和7年4月1時点

(4) 備蓄物資の整備

食糧及び飲料水等、生命に直接関わるものから優先的に整備することとし、財政負担を少なく管理の負担を低減するよう努め、かつ、効率的な備蓄に努めることとします。このため、各家庭におけるローリングストックを推進すると共に、自主防災会による資機材の備蓄支援についても検討します。

また、期限間近の物資については、市の様々なイベント及び防災教育の一環として、小・中学校や子ども食堂への配布を検討します。この減数も考慮して算出し、備蓄率を以下のように算出。

$$\text{備蓄率} [\%] = \text{備蓄数} \div \text{目標数} \times 100$$

ア 食糧・飲料水

品目	目標数	令和7年度末		備蓄場所
		数量	備蓄率[%]	
・アルファ米 (アレルギー対応食) ・クラッカー ・ライスクッキー (アレルギー対応食)	36,928 食	50,072 食	100%	各避難所、防災センター、 後谷備蓄倉庫、
・アルファ米 (要配慮者対応食) (アレルギー対応食)	5,803 食	13,800 食	100%	各避難所、各福祉避難所
・乳幼児用ミルク (粉末)	204 食	1,200 食	100%	防災センター
・乳幼児用ミルク (液体)		960 食		各避難所、各自主避難場所
・乳アレルギー対応 ミルク(粉末)		240 食		
・飲料水	76,869 ℓ	13,686 ℓ (500ml ペットボトル)	17.8%	各避難所、防災センター

※クラッカーについて、令和5年度以降段階的にアレルギー対応食であるライスクッキーに変更します。

※飲料水について、耐震性貯水槽（60,000ℓ）や非常用給水栓を設置している受水槽からの配水が見込まれます。さらに三郷市には、県営水道の新三郷浄水場及び東京都水道局三郷浄水場が配備されており、合計で146.5万㎡の施設能力があります。災害時は、この2施設からの配水も見込まれます。

イ 生活必需品

品 目	目標数	令和7年度末		備蓄場所
		数量	備蓄率[%]	
毛 布	1,388 枚	6,222 枚	100%	各避難所 各福祉避難所 (ピアラシティ) 防災センター
アルミブランケット	6,153 枚	4,800 枚	78%	各避難所 各福祉避難所 (ピアラシティ) 各自主避難場所 防災センター 後谷備蓄倉庫
エアーマット	3,805 個	10,260 個	100%	各避難所 各福祉避難所 (ピアラシティ) 各自主避難場所 後谷備蓄倉庫
生理用品	17,578 枚	55,634 枚	100%	各避難所 各福祉避難所 (ピアラシティ) 防災センター
哺乳瓶	204 個	510 個	100%	防災センター
子供用紙おむつ	1,414 枚	17,620 枚	100%	各避難所 各福祉避難所 (ピアラシティ) 防災センター
大人用紙おむつ	905 枚	3,134 枚	100%	各避難所 各福祉避難所 (ピアラシティ) 防災センター
仮設トイレ・簡易トイレ	145 台	628 台	100%	各避難所 防災センター 後谷備蓄倉庫
携帯トイレ	108,465 回分	105,600 回分	97.4%	各避難所 各福祉避難所 (ピアラシティ) 各自主避難場所 防災センター 後谷備蓄倉庫
トイレトーパー	43,386m	205,200m	100%	各避難所 各福祉避難所 (ピアラシティ) 各自主避難場所 防災センター

ウ 資機材

品 目	目標数	令和 7 年度末		備蓄場所
		数量	備蓄率[%]	
ガスインバータ発電機	74 台	41 台	55.4%	各避難所 各福祉避難所 (ピアラシティ) 後谷備蓄倉庫
カセットガス	7,104 本	3,888 本	54.7%	各避難所 各福祉避難所 (ピアラシティ) 後谷備蓄倉庫
エンジンオイル	74 本	45 本	60.8%	各避難所 各福祉避難所 (ピアラシティ) 後谷備蓄倉庫
バルーン投光器	74 台	39 台	52.7%	各避難所 各福祉避難所 (ピアラシティ) 防災センター
非常用電池	148 台	106 台 [マグネシウム空気電池 33 台 空気亜鉛電池 73 台]	71.6%	各避難所
コードリール	74 台	42 台	56.7%	各避難所 各福祉避難所 (ピアラシティ) 防災センター
プライベートテント	330 張	421 張	100%	各避難所 各自主避難場所 防災センター 後谷備蓄倉庫 マイネッツ三郷
間仕切り	2,196 張	1,467 張	66.8%	各避難所 各自主避難場所 防災センター 後谷備蓄倉庫 マイネッツ三郷
簡易ベッド	719 台	480 台	66.8%	各避難所 各自主避難場所 防災センター 後谷備蓄倉庫
アルミマット	2,640 枚	4,800 枚	100%	各避難所 各自主避難場所 後谷備蓄倉庫
多目的簡易ベッド	72 台	40 台	55.6%	各福祉避難所 (ピアラシティ)
自動ラップ式トイレ	48 台	52 台	100%	各福祉避難所 (ピアラシティ) 防災センター 希望の郷交流センター

(5) 食糧・飲料水の備蓄計画

ア 食糧（賞味期限：5年間）の備蓄目標数を維持するための備蓄計画は次表のとおり。

（単位：食）

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度当初 備蓄量	アルファ米（きのこご飯等）	28,120	29,420	30,470	31,470	30,470
	アルファ米（おかゆ）	14,050	15,950	16,550	17,150	16,750
	クラッカー	18,865	14,490	10,360	5,880	0
	ライスクッキー	9,552	14,112	18,912	23,712	28,512
処分量	アルファ米（きのこご飯等）	2,700	3,950	4,000	6,000	5,750
	アルファ米（おかゆ）	500	2,400	2,400	3,400	2,700
	クラッカー	4,375	4,130	4,480	5,880	0
	ライスクッキー	0	0	0	0	4,320
購入量	アルファ米（きのこご飯等）	4,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	アルファ米（おかゆ）	2,400	3,000	3,000	3,000	3,000
	クラッカー	0	0	0	0	0
	ライスクッキー	4,560	4,800	4,800	4,800	4,800
年度末 備蓄量	アルファ米（きのこご飯等）	29,420	30,470	31,470	30,470	29,720
	アルファ米（おかゆ）	15,950	16,550	17,150	16,750	17,050
	クラッカー	14,490	10,360	5,880	0	0
	ライスクッキー	14,112	18,912	23,712	28,512	28,992
総備蓄量		73,972	76,292	78,212	75,732	75,762

イ 乳児用粉ミルク（賞味期限：1年5ヶ月）の備蓄目標数を維持するための備蓄計画は次表のとおり。

（単位：食）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度当初備蓄量	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
処分量	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
購入量	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
年度末備蓄量	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200

ウ 乳児用液体ミルク（賞味期限：1年5ヶ月）の備蓄目標数を維持するための備蓄計画は次表のとおり。

（単位：食）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度当初備蓄量	960	960	960	960	960
処分量	960	960	960	960	960
購入量	960	960	960	960	960
年度末備蓄量	960	960	960	960	960

エ 乳アレルギー対応粉ミルク（賞味期限：1年5ヶ月）の備蓄目標数を維持するための備蓄計画は次表のとおり。（単位：食）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度当初備蓄量	240	240	240	240	240
処分量	240	240	240	240	240
購入量	240	240	240	240	240
年度末備蓄量	240	240	240	240	240

オ 飲料水（賞味期限：10年間）の備蓄目標数を維持するための備蓄計画は次表のとおり。（単位：本）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度当初備蓄量	25,452	27,372	29,772	32,172	27,228
処分量	0	0	0	7,344	4,656
購入量	1,920	2,400	2,400	2,400	2,400
年度末備蓄量	27,372	29,772	32,172	27,228	24,972

※飲料水については、避難者に迅速に配給できるよう、まず、500mlのペットボトルを供給し、その後は耐震性貯水槽や配水池からの給水車等による供給を行うものとします。

カ 非常食セット（賞味期限：5年間）の備蓄目標数を維持するための備蓄計画は次表のとおり。

（単位：セット）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度当初備蓄量	2,120	2,120	2,620	3,120	3,620
処分量	0	0	0	0	480
購入量	0	500	500	500	500
年度末備蓄量	2,120	2,620	3,120	3,620	2,140

キ スープ（賞味期限：5年間）の備蓄目標数を維持するための備蓄計画は次表のとおり。（単位：食）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度当初備蓄量	1,200	1,200	1,500	1,800	2,100
処分量	0	0	0	0	1,200
購入量	0	300	300	300	300
年度末備蓄量	1,200	1,500	1,800	2,100	1,200

(6) 生活必需品の備蓄計画

ア 生理用品（使用期限：5年間）の備蓄目標数を維持するための備蓄計画は次表のとおり。

(単位：枚)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度当初備蓄量	49,154	55,634	57,074	58,514	45,514
処分量	0	0	0	14,440	9,600
購入量	6,480	1,440	1,440	1,440	1,440
年度末備蓄量	55,634	57,074	58,514	45,514	37,354

イ 子供用おむつ（使用期限：10年間）の備蓄目標数を維持するための備蓄計画は次表のとおり。

(単位：枚)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度当初備蓄量	17,620	17,620	18,760	19,900	21,040
処分量	0	0	0	0	0
購入量	0	1,140	1,140	1,140	1,140
年度末備蓄量	17,620	18,760	19,900	21,040	22,180

ウ 大人用おむつ（使用期限：10年間）の備蓄目標数を維持するための備蓄計画は次表のとおり。

(単位：枚)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度当初備蓄量	3,134	3,134	3,290	3,446	3,602
処分量	0	0	0	0	0
購入量	0	156	156	156	156
年度末備蓄量	3,134	3,290	3,446	3,602	3,758

エ 携帯トイレ（使用期限：10年間）の備蓄目標数を維持するための備蓄計画は次表のとおり。

(単位：回)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度当初備蓄量	101,200	105,600	124,800	91,000	110,200
処分量	0	0	53,000	0	0
購入量	4,400	19,200	19,200	19,200	19,200
年度末備蓄量	105,600	124,800	91,000	110,200	129,400

オ トイレットペーパー（使用期限：10年間）の備蓄目標数を維持するための備蓄計画は次表のとおり。（単位：巻）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度当初備蓄量	1,026	1,026	1,242	1,458	1,674
処分量	0	0	0	0	0
購入量	0	216	216	216	216
年度末備蓄量	1,026	1,242	1,458	1,674	1,890

※1 巻 200m（令和4年度購入）

(7) 資機材【消耗品】の備蓄計画

ア カセットガス（使用期限：7 年間） （単位：本）

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
年度当初備蓄量	3,888	4,032	4,464	5,040	5,616
処分量	3,744	144	0	0	0
購入量	3,888	576	576	576	576
年度末備蓄量	4,032	4,464	5,040	5,616	6,192

イ エンジンオイル（使用期限：7 年間） （単位：本）

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
年度当初備蓄量	45	48	51	57	63
処分量	42	3	0	0	0
購入量	45	6	6	6	6
年度末備蓄量	48	51	57	63	69

3 協定による物資の調達

本市では、企業・自治体等とあらかじめ協定を締結し、災害時に必要な物資を速やかに調達できる体制を整備しています。流通備蓄に関する協定先については、食糧・飲料水・生活必需品・燃料等の物資の調達について市内の企業と協定を締結しています。今後も、市の備蓄を補完することが可能な、早期に調達できる流通備蓄の確保に努め、協定先の拡充を図ることとします。

なお、令和8年5月現在の流通備蓄に関する協定締結状況は以下のとおり。

流通備蓄に関する協定締結先一覧（令和8年5月現在）

協定名	内容	協定先
災害時における食パン等の供給に関する協定書	食料（パン）の供給	第一屋製パン株式会社金町工場
災害時における衣料品等供給に関する協定書	衣料品の供給	みさと衣料品店グループ
災害時における救援物資提供に関する協定書	飲料水の供給	コカ・コーライーストジャパン株式会社 VM川口支店
緊急時における物資等の協力に関する協定書	施設、車両等の使用、食料品の供給	さいかつ農業協同組合
災害時における物資の供給に関する協定書	仮設トイレ、発電機等のレンタル機材	株式会社アクティオ 三郷営業所
緊急時における物資の供給に関する協定書	食料品、生活必需品の供給	株式会社イトーヨーカ堂 三郷店
緊急時における物資の供給に関する協定書	食料品、生活必需品の供給	株式会社カスミ
緊急時における物資の供給に関する協定書	食料品、生活必需品の供給	DCM ホールディングス株式会社
緊急時における物資の供給に関する協定書	食料品、生活必需品の供給	株式会社マルエツ 三郷中央店
緊急時における電気設備に係る協力に関する協定書	発電機及び光源の提供、電気設備の応急処置	三郷市電設協力会

災害時における医療救護活動に関する協定書	トリアージ、応急処置、医薬品の提供、診療・医療相談、感染症の予防	一般社団法人三郷市医師会、 歯科医師会、薬剤師会、接骨師会
東京都水道局三郷浄水場における 応急給水活動に関する協定書	東京都水道局三郷浄水場での 応急給水活動の協定	東京都公営企業管理者 東京都水道局
災害時における給油取扱所の支援協力に 関する協定書	災害時における燃料給油等の 支援協力	埼玉県石油商業組合三郷支部 有限会社 たび屋商店
緊急時における物資の供給に関する 協定書	食料品、生活必需品の供給、駐車場 及び付帯施設の利用	コストコホールセールジャパン 株式会社
災害時における飲料水提供に関する 協定書	飲料水の供給	株式会社伊藤園
災害時における物資の供給に関する 協定書	食料品、生活必需品の供給、駐車場 及び付帯施設の利用	イケア・ジャパン株式会社
災害時における資材の供給に関する 協定書	資材の供給	富士機材株式会社 東京第二支店
災害時におけるLPガスの優先供給等の 協力に関する協定書	災害時において、LPガスを避難所等 へ優先供給するための協力	埼玉県LPガス協会 南東武支部
災害時における医薬品等の調達業務に 関する協定書	医薬品等の供給	一般社団法人埼玉県医薬品卸業協会 (アルフレッサ株式会社) (株式会社スズケン) (東邦薬品株式会社) (株式会社メディセオ)
緊急時における物資の供給等に関する 協定書	物資の提供、駐車場及び付帯施設の 利用	アークランズ株式会社 (ビバホーム)
緊急時における物資の供給に関する協定	医薬品や食料、飲料水、生活必需品の 提供	株式会社セキ薬品

4 備蓄倉庫

備蓄物資をより効率的に運搬・配布できるようにするために、各避難所施設等に分散配備を進めています。

(1) 集中備蓄倉庫

避難所施設の備蓄物資を補完・補充するとともに、避難者が多い避難所施設へ直接、備蓄物資を運搬・配布するため、集中的に備蓄物資を配備します。

避難所施設外備蓄倉庫一覧

備蓄倉庫名	所在地
防災センター	中央 5-45-4
後谷備蓄倉庫	後谷 106-6
ピアラシティ交流センター	泉 2-35
希望の郷交流センター	彦成 3-7-19
マイネッツ三郷	中央 3-46-8
DPL 三郷 I	インター南 1-3-5
DPL 三郷 III	インター南 3-2-1、3-1~42

※マイネッツ三郷、DPL三郷 I 並びにDPL三郷 IIIは協定に基づき、備蓄倉庫を借用している。

(2) 分散備蓄倉庫

災害発生時において、すみやかに備蓄物資の運搬・配布ができるよう、各施設に備蓄物資を配備します。

分散備蓄倉庫一覧（令和8年5月現在）

	備蓄場所名	所在地
1	早稲田小学校	三郷3-2-1
2	八木郷小学校	鷹野1-35-1
3	戸ヶ崎小学校	戸ヶ崎3-76-1
4	彦成小学校	彦倉1-133
5	高州小学校	高州2-275
6	吹上小学校	寄巻921-1
7	桜小学校	彦成4-5-16
8	鷹野小学校	鷹野3-211
9	新和小学校	中央2-28-12
10	幸房小学校	茂田井88

11	立花小学校	彦成4-3-18
12	彦糸小学校	彦成3-10-23
13	前谷小学校	戸ヶ崎2-600
14	高州東小学校	高州2-409
15	彦郷小学校	彦成3-8-29
16	丹後小学校	早稲田5-3
17	前間小学校	前間197-1
18	瑞木小学校	さつき平1-6-1
19	旧後谷小学校	後谷36-3
20	南中学校	鷹野3-356
21	北中学校	泉2-13-1
22	栄中学校	栄4-325
23	彦成中学校	彦成 4-1-19
24	彦糸中学校	彦成3-14-4
25	前川中学校	栄5-141
26	早稲田中学校	彦成5-56
27	瑞穂中学校	大広戸1001
28	瑞沼市民センター	上彦名870
29	県立三郷高等学校	花和田620-1
30	県立三郷北高等学校	大広戸808
31	県立三郷工業技術高等学校	彦成3-325
32	県立三郷特別支援学校	駒形56
33	獨協医科大学附属看護専門学校三郷校	彦成3-11-21
34	さつき学園	幸房1430-3
35	ワークセンターしいの木	幸房1433
36	しいのみ学園	新和2-193
37	文化会館	早稲田5-4-1
38	鷹野文化センター	鷹野4-70
39	コミュニティセンター	戸ヶ崎2-654
40	東和東地区文化センター	新和3-261-2
41	彦成地区文化センター	彦野1-161
42	高州地区文化センター	高州3-60-1
43	青少年ホーム	谷口570

三郷市備蓄計画

令和 2 年 4 月

令和 8 年 5 月 改訂

発行：三郷市

編集：危機管理防災課

〒341-8501

埼玉県三郷市花和田 648 番地 1

電話：048-930-7832